

平成27年4月、鷹山小学校は荒砥小学校に統合します

白鷹町における小・中学校の配置計画について

平成18年12月、教育委員会では、急激な少子化の状況を踏まえ、次代を担う児童生徒のより良い教育環境並びに小・中学校の適正配置について、白鷹町における小・中学校の配置計画を策定しました。

その後、制度の変更や出生数の見込みなどの状況変化があり、国・県の方向性も踏まえて、平成23年2月に小・中学校の配置計画について見直しを行いました。



配置計画の見直し結果の要旨（平成23年2月）

小学校については、現時点での出生数の状況を受けとめながらも、地域の方からの「地域の学校」としての熱い思いや地域の主たる公的施設としての役割、少人数指導、通学距離などを考慮し、当面は統合せず、今後の出生数の状況を見据え改めて検討することとします。

なお、複式学級のある学校については、地域の方々の協議により再編を進めていきます。

鷹山小学校再編について

【これまでの経過】

鷹山小学校の再編については、平成24年12月以降、小規模・複式学級のメリット・デメリットを分析公表し、鷹山小学校・荒砥小学校両校の保護者や学校関係者、両校区の役員や未就学児童の保護者、さらには鷹山地区にお住まいのみなさんと、計8回の話し合いを行いました。また、鷹山小学校児童の保護者及び鷹山小学校に入学するであろう保育園児の保護者を対象とした意向調査を行うなどしながら、地域・保護者のみなさんの意向集約に努めてきたところです。

教育委員会では、今後、平成30年度においても複式学級が存在すると見込まれるなか、子どもたち一人ひとりが様々な集団の中で自分や仲間を大切にしながら学び、成長できる教育環境を保障することの意義を重要視するとともに、子ども・保護者・学校・地域のみなさんのご意見などを総合的に判断した結果、

「平成27年4月に鷹山小学校は荒砥小学校に統合する」との結論に至り、町長に報告しました。

【行政報告】

町長からは、5月1日の議会臨時会において、これまでの経過を踏まえて教育委員会からの報告を尊重することとし、鷹山小学校の統合に向け、両校及び関係機関等との調整を図り、統合に向けた環境整備を進める旨、行政報告がありました。

【今後のすすめ方】

鷹山・荒砥両校の地域・保護者のみなさんの不安を解消するとともに、両校の間で統合に向けた教育活動のあり方を十分に検討していきたいと考えています。

なお、再編に必要な事項については、荒砥小・鷹山小統合準備委員会（仮称）を組織して検討していきます。

